

平成30年度 予算

活力に満ちた魅力あるまちづくりを推進

一般会計予算額

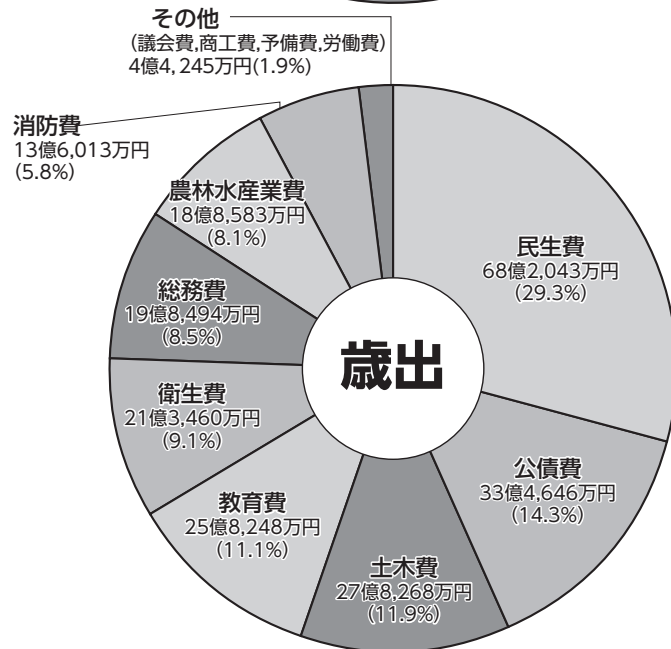
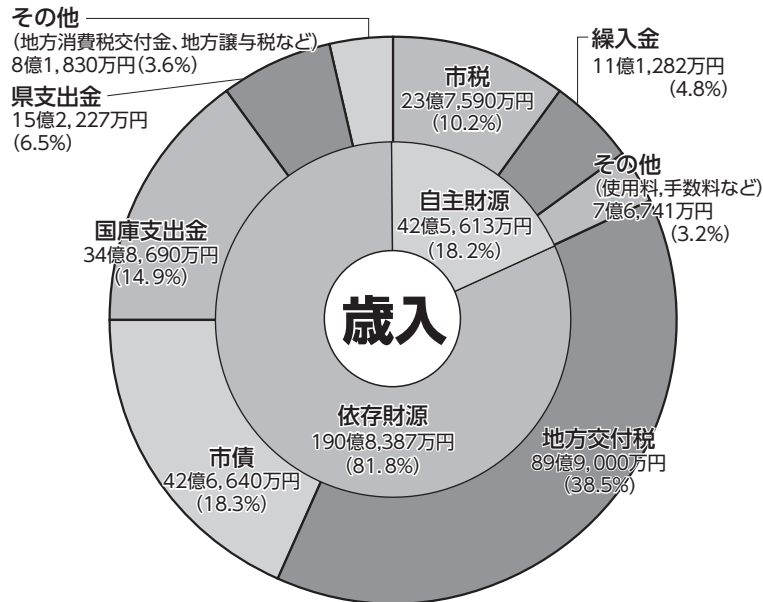
233億4,000万円

一般会計は4.9%増

平成30年第1回つがる市議会定例会において、平成30年度の当初予算が可決されました。一般会計の予算規模は233億4千万円で、前年度当初予算に比べて10億9千万円（4.9%）の増。建設事業費の増加などにより、過去2番目の規模となっています。

予算の編成にあたっては、財源の約4割を占める地方交付税が減額されていることに加え、大幅な増収は見込めない状況であることから、これまで同様、歳入に見合った効果的で効率的な財政運営、基金の取り崩しに頼らない健全な財政の構築に取り組んでいます。

この厳しい状況の中、第2次つがる市総合計画に掲げる当市が目指す姿、「未来に希望を感じる活力あるまち」、「思いやりとやさしさにあふれるまち」、「郷土に誇りと愛着を感じるまち」を実現するため、「人口減少対策」「農業の振興」「教育の充実」を重点課題として予算配分に努めました。私たちの暮らしに活かされる平成30年度当初予算の概要をお知らせします。



会計別の当初予算額

区 分	平成30年度	平成29年度	対前年度比
一 般 会 計	233億4,000万円	222億5,000万円	4.9 %
特 別 会 計	113億7,385万9千円	127億3,849万9千円	▲10.7 %
農業集落排水事業	6億6,819万6千円	6億5,394万4千円	2.2 %
公共下水道事業	7億9,805万4千円	7億 674万5千円	12.9 %
国民健康保険	46億7733万円	62億4,804万4千円	▲25.1 %
後期高齢者医療	6億9,547万1千円	6億8,453万1千円	1.6 %
介護保険	45億3,480万8千円	44億4,523万5千円	2.0 %

一般会計で1年間に市民1人당に使われるお金は **70万3,351円**
(平成30年2月28日現在の人口 33,184人で計算したものです。)



そのお金は、このように使われます

民生費
子どもや高齢者、障害を持つ方を支えるお金
205,534円

土木費
道路の整備や除排雪などを行うためのお金
83,856円

教育費
学校教育やスポーツ、文化振興のためのお金
77,823円

衛生費
ごみ処理や環境保全、病気の予防などのためのお金
64,326円

総務費
地域振興や庁舎の管理、選挙などで使うお金
59,816円

農林水産業費
農業や水産業などを振興するためのお金
56,830円

消防費
消防活動や防災のためのお金
40,988円

公債費
借金を返すためのお金
100,845円

その他
議会費、商工費、労働費などに充てられます
13,333円

今年度の主な取り組み ～第2次つがる市総合計画 8つの基本政策に沿って紹介します～

①若者が集まるまちづくり

- 保育所等第2子以降支援助成事業・・・6,413万円
第2子以降の保育料を完全無料とし、子育てを支援します。
- 地方創生事業・・・5,113万円
市への移住を促進するため移住者への家賃補助、結婚を希望する男女の応援などを実施します。

②活力あふれるまちづくり

- つがるブランド推進事業・・・4,781万円
柏ロマン荘増築事業・・・1億7,899万円

③利便性の高いまちづくり

- 道路橋梁事業・・・9億3,400万円
道路や橋の維持・整備を行います。
- 除雪対策事業・・・4億5,587万円

④健やかに暮らせるまちづくり

- 市民特別健診事業・・・9,443万円
予防接種対策事業・・・9,243万円
今年度も、中学生までのインフルエンザ予防接種費用の無料化を継続します。

⑤地域で支え合うまちづくり

- 児童福祉対策事業・・・5億9,083万円
高齢者福祉対策事業・・・1億4,983万円
障害者福祉対策事業・・・11億2,032万円

⑥やすらぎと安心のあるまちづくり

- 地域住宅支援事業・・・8億2,464万円
市営住宅（桜木団地）の整備を行います。
- 消防署再編庁舎建設事業・・・5,755万円
消防署再編に伴う庁舎の建設に向けた用地の取得や設計などを行います。

⑦未来を担う人と文化を育むまちづくり

- 総合体育館建設事業・・・7億700万円
総合体育館の建設に向けた用地の取得などを行います。

⑧協働のまちづくり

- 東京事務所開設準備費・・・850万円
平成31年度開設に向けた準備をします。東京事務所では、企業誘致活動や併設するアンテナショップでの特産品販売、市への移住定住に関する情報発信などを行います。